

スポーツの楽しさのために

小樽市立朝里中学校 2年

加藤 碧

僕は、サッカーのチームに所属しています。チームの練習には、市の公園を使っています。その公園のグラウンドの土は硬くて動きにくかったのですが、最近、整備されました。新しい土が入って、ボールが蹴りやすくなりました。

なぜ整備されたのか気になって調べてみると、チームが市議会議員に相談し、市議会議員が市の担当課と話あって、整備が決定した、という流れだったことがわかりました。僕は、それまで市議会議員がどんなことをしているか考えたこともなかったのですが、意外に身近な存在だな、と思いました。

市議会議員は、市民の声を聞き、地域問題について解決策を考え、行動することが仕事です。市議会議員の給料は、税金で支払われています。僕は、地域をよりよくするために必要な仕事だと思いました。

ところで、小樽市内には、僕のサッカーチームがサッカーの練習をしている公園だけでなく、他にもたくさんのおスポーツ施設があります。全てをどのように維持しているのかわかりなくなりました。調べてみると、小樽市のホームページで、「小樽市スポーツ施設長寿命計画」というものを見つけました。今年の三月に発表された令和五年度から令和四

十年度までの計画です。

小樽市のスポーツ施設の多くは、建設から数十年が経ち、老朽化が進んでいます。安全確保のためのメンテナンスに止まっているのが現状だそうです。小樽市では、少子高齢化と人口減少も進んでいるので、このような計画が必要だと説明されていました。

対象のスポーツ施設には、いつも練習する公園や、大会の会場になるサッカー場も入っています。事業費をみると、いつも練習する公園は、令和二十年度から令和四十年年度まで一億五千万円、サッカー場は、令和十年度から令和四十年年度まで二億四千万円となっていました。令和四十年年度までの総額は、四十六億九百万円となる見込みだそうです。

スポーツ施設を維持するためにこんなたくさんのお金がかかるなんて考えたこともありませんでした。グラウンドを大切に使うことの意味が今まで以上に感じられました。

僕は、スポーツの楽しさを知っているから、この税金の使い方は正しいと思いますが、スポーツの楽しさを知らない人は、他のことに使ったほうが良いと考えるかもしれません。だから僕はサッカーを続けながら、一人でも多くの人にスポーツの楽しさを伝えることも考えています。